

町立病院は、適切な医療提供に24時間対応しています。

具合の悪い時はいつでもご相談ください。

☎0237-74-2211



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

NETWORK

にしかわ

2025
令和7年
8月号
No.833

- 主な内容 -
P2・3 | にしかわ夏祭り
P4～7 | 「フェリシア月山カヌーセンター」特集

飲食物販売エリア

たこ焼きやスパイスのきいたカレー、冷たい飲み物など、夏祭りにぴったりのメニューを取りそろえた出店が立ち並びました。

会場には浴衣姿の親子連れや友人同士のグループが訪れ、それぞれに目当ての屋台をのぞきながら、にぎやかな雰囲気を楽しんでいる様子が印象的でした。

扇風機付きのミストも設置され、暑さ対策もばっちり。冷たい飲み物を手し、笑顔で屋台を歩く人々の姿に、夏のひとときを満喫する様子がうかがえました。



こども縁日エリア

射的やヨーヨー釣り、型抜きなど、さまざまな遊びが用意され、子どもたちは思い思いに楽しみました。



花火打ち上げ時の火災防止のため、西川町消防団81名が日差しが強い中出動。3箇所の打ち上げ場所へそれぞれ移動し、放水や周辺警備をしていただきました。猛暑の中での作業ありがとうございました。



にしかわ夏祭り2025レポート



7月26日、「交流センターあいべ」と「にしかわイノベーションハブTRAS」を会場に、「にしかわ夏祭り」が開催されました。

メインステージでは、コンサートやアトラクション、オープニングイベントやセレモニーが行われ、野外フェスも大いに盛り上がりしました。

また、会場には20店舗を超える出店が並び、多くの来場者で大盛況。

クライマックスには、昨年を上回る約5,000発の花火が夜空を彩り、観客から大きな歓声が上がりました。

当日は猛暑でしたが、町全体が笑顔と活気に包まれ「最高の夏」となりました。



メインステージ



あいべ内では、西川町出身のソプラノ歌手・西谷衣代さんの美しい歌声が会場に響き渡りました。西川スマイリークラブのみなさんとのコラボも実現し、子どもたちもみんな楽しい時間を過ごしました。

野外では、吉川権現太鼓のみなさんが迫力ある和太鼓演奏を披露し、ステージを盛り上げました。



暑さに負けず、元気いっぱいのダンスパフォーマンスを披露した西川スマイリークラブのみなさん。その生き生きとした躍りに、観客の顔にも自然と笑顔がこぼれました。

山形交響楽団のみなさんが、暑さを吹き飛ばすようなクリスマスソングメドレーを披露し、会場は爽やかな雰囲気に。そして、華やかなファンファーレと共に、花火が打ち上がり、夜空を彩りました。



待望の「フェリシア月山カヌーセンター」が グランドオープン!



▲竣工式の後に記念となる集合写真を参列者で撮影



▲テープカットの一コマ



▲鈴木琥葉久さん(西川中3年)の謝辞



▲4人乗りホビーを楽しむ来場者



▲大噴水の迫力を湖面から体感

ウォーターアクティビティが充実!



カヌーセンター始動

6月28日、フェリシア月山カヌーセンター(以下、「カヌーセンター」)の竣工式が行われ、菅野町長をはじめ、御来賓など100名を超える関係者が参列しました。式典では、地元ジュニア選手を代表し、西川中カヌー部部長の鈴木琥葉久選手(3年・間沢)が登壇し、「カヌーセンターを建設いただき感謝します。全国大会では上位入賞目指してがんばります。」と、謝辞と大会に向けての決意表明を述べられました。

式典の終盤には、吉川権現太鼓が威勢の良い太鼓の音で式典に華を添えました。

竣工までの経緯

西川町では、べにばな国体(1992年)を契機に、カヌーを町のスポーツとして位置付け、教育やスポーツ観光の分野で様々な取り組みを進めてきました。

具体的には、西川小学校の全学年カヌー授業や中学校のカヌー部創設、インターハイ・インカレなどの各種全国大会の開催などを展開。

しかしながら、月山カヌースプリント競技場の湖畔には、トイレや更衣室、カヌーの保管場所、悪天候時の避難場所といった施設がなく、仮設トイレやテントで凌ぐなど、環境の整備が課題でした。

これらの課題を解決するため、令和4年度から本格的なカヌーセンターの建設計画に着手。令和4年度には、国交付金を獲得し、この度のグランドオープンに至りました。鉄骨造2階建て。総工費約6億8千万円。

竣工までの経緯

時期	内容
令和4年10月	基本設計入札・発注
令和5年1月	国交付金申請(デジタル田園都市国家構想交付金)
令和5年3月	基本設計完了、国交付金交付決定内示
令和5年4月	国交付金交付決定
令和5年4月	実施設計入札・発注
令和5年12月	実施設計完了
令和6年4月	躯体工事入札・議決・発注
令和7年3月	躯体工事完成
令和7年4月	外構工事入札・発注
令和7年6月	外構工事完了

カヌーセンターの役割

①カヌーの普及振興と競技力向上

各種全国大会や合宿の誘致のほか、カヌー競技の裾野を広げる活動やジュニア選手の育成を強化します。
※宿泊機能はありません

②交流人口・関係人口の拡大

レジャーカヌーやSUP(スタンドアップパドルボード)に加え、東北初となる足漕ぎカヌー「HOBIE(ホビー)」など、月山湖におけるウォーターアクティビティを充実。誰でも安全に水上散歩を楽しめるプログラムを展開し、誘客につなげます。

西川町では、月山や朝日連峰に加え、月山湖エリア全体を「水辺の新たな観光拠点」として、魅力ある観光地づくりを進めてまいります。

施設内容は、次ページで解説!

フェリシア月山カヌーセンター施設概要

1階エリア

定休日：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
 利用時間：平日10:00~19:30 土日祝日10:00~18:00

ラウンジ、コワーキングルーム

ラウンジチェアやソファで寛ぎながら、会話を楽しめるほか、フリーWi-Fiを完備しているため、テレワークも可能。ハンドドリップコーヒーや特製サンドイッチなどの軽食も販売します。



トイレ

3段階の処理槽を経て浄化された水をトイレの洗浄水として循環利用するシステムを導入しています。

更衣室・シャワールーム

カーテンで仕切られたスペースで安心して着替えることができます。貴重品ロッカーも完備しています。

シャワールーム 1回100円



HOBIE BASE GASSAN受付

HOBIE (ホビー) やレジャーカヌー、SUP (サップ) などの受付を行います。



受付はこちらから▶



2階エリア

トレーニングルーム

カヌースプリント競技のトレーニング設備を整えており、世界を目指すハイレベルな選手にも対応。エルゴマシーン(カヌー動作のトレーニングできる器具)も完備し、湖面でカヌーの練習ができない場合にも活用できます。もちろん、カヌー選手に限らず、一般のお客様も利用できます。

トレーニングルーム 1回 300円



2F



大会運営室

成績処理やアナウンスなどの大会運営を一元的に行うことができるスペース。放送ブースと大型スピーカー(屋外に設置)を完備し、スポーツDJが大会を盛り上げます。



ミーティングルーム

大会運営時の審議室やチームのミーティングルームとして利用可能。

カヌー艇庫

HOBIE (ホビー) やレジャーカヌー、SUP (サップ) など保管します。





菅野大志の

「いどばた会議」vol.37

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

近年、中高生のカヌー競技レベルが日本全体で向上していますが、西川町の部員は減少しています。そんな中、中高生がやってくれました！

西川中カヌー部の男子500mカヤックフォア（4人漕ぎ）で鈴木琥葉久さん、太田和輝さん、荒木琉志さん、荒木久隆さん、カナディアンシングル（1人漕ぎ）で荒木久隆さん、優勝しました。カヌー会の常識も覆す二刀流での活躍！部員は9人で少数精鋭でも、白田駿コーチの指導もあり、全国の頂点に。

全国高校のインターハイでも、西川町出身者の佐藤和佳さん、土田琳子さん、太田里桜奈さん（寒河江高）・伊藤直大さん（谷地高）が優勝。誇らしく、元気を与えてくれてありがとう！



1. にしかわ夏祭り、たくさんの方々にご来場いただきありがとうございました！

復活から2回目の開催でもあり、昨年より多い約5000人が来場。あいべ付近は、町外からのお客様が多く、町民の方々は、ご自宅やご自身のベストなスポットでご覧いただいたのかなと思います。今年は、各種交付金を獲得したことにより、町外企業のみ協賛を募ったり、500円の町民観覧席を用意する等にチャレンジしました。

また、この花火が開催できるのは、佐藤重三団長を頭とする西川消防団のおかげです。前日に雨が降ったものの、降水のない時期が続き、14時より遅くまで放水作業等にご協力のおかげです。ご家族でゆっくりしたいところをみんなのために頑張ってくれた、消防団、町職員、ボランティアの皆様、ありがとうございました。

■夏祭りを開催した目的は2つあります。来年も継続し、改善してまいります。

①笑顔になってほしい：子ども・お孫様、「ゆかりある方が西川に集い、笑顔の行事にしたい」

②今まで西川を守ってきた方々への感謝、「西川に生まれたことを喜んでいただきたい」

このほか、海味出身のソプラノ歌手西谷衣代様、山形交響楽団のプロの歌・演奏を子供たちに感じることができ、西川スマイリークラブや吉川権現太鼓にもご協力いただき、みんなで作ったお祭りでした。関係者の皆様、ありがとうございました！

翌朝、町内外ボランティア・職員とともに花火カス拾いを行いましたので、この場を借りてご紹介させていただきます。



今月の大ニュース！

『西川中カヌー一部、寒河江高・谷地高カヌー一部、
全国優勝おめでとうございます！』

ご登録お願いします！



▲町公式LINE

2. 山形県への要望活動

日頃の区長や地域との対話を踏まえ、山形県に要望しています。要望書は、制作に2か月を要する大作です。抜粋してご紹介いたします。

- ①町立病院の医療体制（医師の確保）の確保
- ②月山IC～湯殿山IC（L＝約21km）区間の高速道路整備
- ③水田農業安定に向けた水田活用の直接支払交付金等の支援強化
- ④地方創生交付金を獲得した町への優先的な地方債発行
- ⑤鳥獣被害対策（捕獲活動に見合った捕獲活動費用への十分な支援）
- ⑥水道の水源地でもある上小沼地区の地滑り対策
- ⑦沼山地区北の沢の土砂流出に向けた治水対策
- ⑧県道大江町田ノ沢～大井沢のゴールデンウィーク前の春季除雪
- ⑨県道小山海味線の小山・入間区間の道路拡幅
- ⑩地方における高付加価値なインバウンドのモデル観光地づくりへの支援
- ⑪登山口等（水沢・岩根沢・本道寺・大井沢）の整備に対する財政支援拡充



8月に、清川仙人会（片倉忠幸会長）に協力いただき、清川行人小屋・岩根沢登山道の管理を学びに伺いました。歩くだけで疲れ、足場の悪い・細い登山道。こうした厳しい状況の中、7月の三連休には山小屋へ食料や燃料を担ぎ上げながら草刈機で道を開き、さらには山小屋につながる配水管を点検する作業も行っており、それがいかに困難なものであるかを教わりました。予算に反映しなくては！

3. ふるさと住民登録（西川ファン）を増やしていくイベント

- 9/6土～7日：モンベル辰野会長を迎え、山形 月山SEA TO SUMMIT2025を開催！
9/6土、17時～、参加者と町民の交流会をあいべ駐車場で開催。ビアガーデン気分ですぐでも参加できます。
9/7日、月山湖をスタートして月山頂上へ。ぜひご参加ください！

- 9月27（土）：ONSENガストロノミーが西川で開催されます。
西川町は、同協会最優秀賞を受賞。わが町のおもてなしは日本一です🔥

郵便局ミニ対話会 ご意見・要望における回答

参加者移住地域	ご意見等	回答
水 沢	町外からの来訪者が増えているため、各地区の町道や県道に防犯カメラを設置してほしい。	町では現在、道路監視用カメラの設置を進めており、今年度内に数台を設置予定です。また、防犯協会支部には、町の補助制度を活用した防犯カメラの設置を呼びかけていきます。 【総務課】
吉 川 海 味	空き巣防止対策のため、防犯巡回の強化をお願いします。青パトや有志による巡回を検討してほしい。	町内にある防犯協会支部では、青色回転灯パトロール（青パト）などの巡回活動を実施いただいております。今後も寒河江警察署との連携をさらに深めながら、巡回体制の強化に努めてまいります。 また、空き巣被害に関する情報につきましては、寒河江警察署より提供可能な範囲で、タブレット等を通じてお知らせしております。なお、個人情報の特定につながるような詳細については、提供が難しい場合がございますので、ご理解くださいますようお願いいたします。 【総務課】
海 味	最近、警察の巡回が減っているため、町から警察へ巡回強化の依頼をしていただけないか。また、有志による自主的な防犯巡回も、他自治体のように導入できると効果的だと思う。	
間 沢 沼 山	山形市の高校へ通う生徒が、JR 左沢線にの乗るため、毎朝保護者が高松駅まで送迎している。負担軽減のため、町営バスによる早朝運行を検討いただけないか。	以前は始発電車に接続するバスを運行していましたが、利用者がいなくなったため令和5年度以降は減便しました。一方、午後の下り便へのご要望が多く寄せられたことから、2便を増便しています。今後も利用状況やニーズを的確に把握しながら運行内容の見直しを行い、より利便性の高い運行に努めてまいります。 【町民税務課】
水 沢	地域で守っている神社仏閣や文化財、区の財産などの維持管理が難しくなっている。地域だけでの対応には限界があるため、町として補助制度の創設を検討いただけないか。	希少なものについては、今後、条例改正を経て運用する文化財登録制度で認定された場合、町が必要と判断すれば、可能な範囲で対応します。 【まなぶ課】
大井沢	一部道路に陥没箇所が複数あり、早急な修繕を望む。	道路の陥没やガードパイプ等の破損については、早急な対応が必要です。国・県・町でも道路パトロールを行い対応に努めていますが、道路の区分（国道・県道・町道）により管理者が異なります。破損箇所の住所や目印などの情報をご連絡いただければ、関係機関と連携した迅速な対応につながります。【建設水道課生活基盤強化室：電話 74-2116】
	歩道のガードパイプが雪の影響で破損し、景観を損ねているため対応をお願いしたい。	
	雪の影響で電柱やガードレールが傾いたり倒れた場合は、早期の対応をお願いしたい。相談窓口はどこか。	

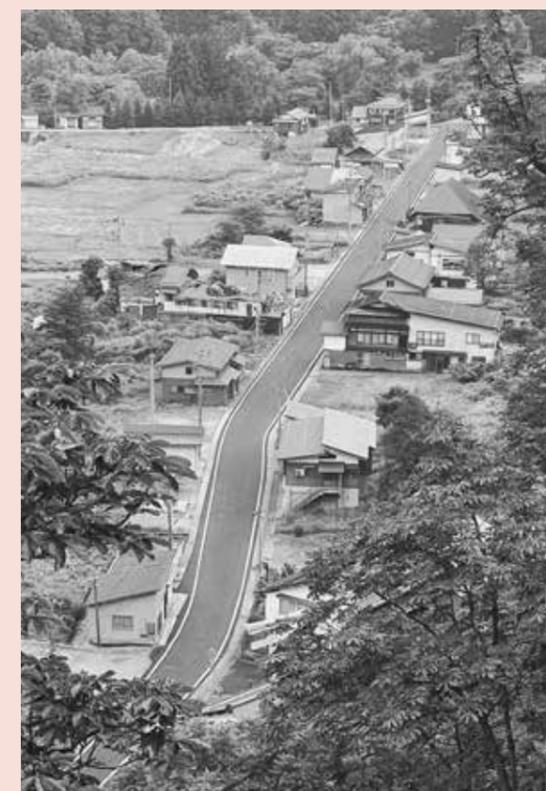
町回答のお問い合わせ先：つなぐ課町民つなぐ係 電話 74 - 2112

より安全な町道を目指して！町道ラインの引き直しが完了しました

このたび、みなさんが安心して歩ける道をつくるために、消えかかっていた町道ラインの大規模な引き直しを行いました。

この事業は、昨年度、小学校PTAから要望をいただいたものです。新しくなったラインは、昼間はもちろん、夜や雨の日でもはっきり見えるようになっています。これにより、子どもたちが学校へ行くときや、お年寄りが買い物やお散歩に出かけるときなど、より安全に道を歩けるようになりました。

また、車を運転する方々にとっても、道路のラインが明確になることで注意すべき場所がわかりやすくなり、安全運転につながります。特に横断歩道や交差点では、歩行者の存在に気づきやすくなり、事故の防止にも効果があります。



約75Kmのラインを引き直しました

今回の事業では、通学路を中心に、公共施設の周辺や交通量の多い道路、見通しの悪い交差点など、町内のさまざまな場所でラインの引き直しを行いました

その結果、合計で約75kmものラインを新しく引き直しました！これはなんと、西川町海味から仙台市あたりまでの距離に相当する長さです。それだけ多くの道路が、より安全で見やすくなったということになります。

町では、今後もみなさんの要望をもとに、安全で快適な道路環境づくりを進めてまいります。みなさんが安心して歩ける道は、みなさんの笑顔と暮らしの安心につながります。

これからも、西川町をもっと安全でやさしい町にしていきたいと思います！



まちづくりNews

身近な「かかりつけ医療機関」として、患者とともに歩み、信頼される医療を提供します 西川町立病院を存続させるために取り組んでいます

「西川町立病院経営強化プラン」で計画した事業の中から、病院の医療機能を維持するために町が行った医師確保の取組みと、今年度から実施している出張意見交換会（お話会）を紹介します。

◆ 菅野町長と武田院長が山形大学医学部附属病院を訪問

当院の医療体制は山形大学医学部などから非常勤医師として医師の派遣協力をいただき、外来診療や休日診療を含む宿日直などの勤務を当院の医師と連携・協力することで維持されています。

こうしたご協力を継続していただきながら関係性をより強くするため、菅野町長と武田院長が同病院を訪問し、日頃の御礼と来年度の派遣の依頼を行いました。

7月14日には、整形外科講座の高木理彰教授（附属病院副院長）を訪ねました。当院の整形外科は、今年度から毎週月曜の診療に隔週第1、3、5金曜の診療が加わりました。これは、昨年度の要望を実現していただいた結果です。また、同日、内科学第二講座の上野義之教授へ、16日には内科学第一講座の渡辺昌文教授へ医師派遣の継続をお願いしました。今後もこのような訪問活動を続けていきます。



▲依頼書を手渡す菅野町長（中央：高木教授）

◆ 「町立病院出張！意見交換会・お話会」を開催

6月18日に毎週水曜日に入間公民館で開催される「サロンdeいりまる」のお茶飲み会に病院スタッフが参加して意見交換をしました。「昔の印象が悪く、今も利用を避けている。」というお話をいただいた一方で「車が運転できなくなったら町立病院を『かかりつけ医院』にしたい。」「医師と長年の信頼関係があり、対応は満足。」といったご意見もいただきました。



▲サロンdeいりまるのお茶飲み会に参加し意見交換会

7月7日には「町民健康温泉の日」に併せて、水沢温泉館で「出張お話会」を開催し、病院から看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師がそれぞれの専門分野で健康相談を受けました。

お話をするなかで、「まずは、急患でも断らずに来院させて欲しい」「町立病院の待ち時間は他と比べて長くない」「デマンドタクシーがあるので助かる」「仕事終わりの時間帯で夜間診療があれば『かかりつけ』にしたい」などご意見をいただきました。

今回のお話会では、よく耳にする病院に対してのご意見や、町立病院に来ない、来ることが出来ない人の理由などを聞くことができ、また、病院の対応に満足しているといった声もいただきました。

今後も町民のみなさまの声に耳をかたむけ、病院経営強化プランの下、いただいたご意見と病院の経営状況を踏まえながら職員一同が対話を重ね協力し合い、地域のみなさまに安心していただける病院を目指してまいります。



▲水沢温泉館「町立病院出張！なんでもお話会!!」

企業版ふるさと納税寄附企業に感謝状を贈呈

◆株式会社高木（本社：寒河江市）から企業版ふるさと納税を活用したご寄附をいただきました。
7月8日、菅野町長から高橋代表取締役社長に感謝状が贈られました。
◆寄附額：100万円
◆活用事業：「町民だれもが安心して豊かな生活で生活できる魅力的なまちづくり事業」



「日本一の啓翁桜の里」でスマート農業のキックオフミーティングを開催

6月23日、「にしかわイノベーションハブ TRAS」にて、啓翁桜の生産拡大と持続可能な農業の実現を目指す「日本一の啓翁桜の里・西川 スマート農業キックオフミーティング」が開催されました。

町では、啓翁桜生産組合などと連携し、令和5年度からスマート農業機器の導入実証に取り組んでおり、生産拡大と技術の次世代への継承を目指しています。

今回のミーティングでは、プロジェクトの目的や進捗、今年度の取り組みについて報告がありました。特に注目を集めたのは、昨年度試験導入された「追従型運搬ロボット」で、参加者は最新技術に触れながら、スマート農業の可能性を実感していました。



図書館さ、いぐべ〜。

お問い合わせ
西川小学校図書館 ☎85-0077

■ 認知症月間企画展「認知症に関する本」

9月は認知症月間です。今年の認知症月間のテーマは「あなたの地域で認知症とともにいきいきと暮らす」です。

図書館では認知症月間にあわせて9月1日より認知症に関する本の展示貸出を行います。期間中、にしかわ保育園の園児の塗り絵なども展示します。この機会にぜひご来館いただき、認知症に関する知識を深めてみませんか。



認知症サポーター「ロバ隊長」

毎月主に第三土曜日(変更あります)サークルぴーつくによるおはなし会を開催しています。

季節に合わせた絵本の読み聞かせや工作など、とても楽しい内容です。写真は7月のおはなし会の様子です。

■ サークルぴーつくおはなし会

8月23日(土曜日) 10時30分より

- ・やさいのおしゃべり
- ・おばけのてんぷら
- ・すいかくんがね
- ・ほか、工作などなど
- ・とまとさんがね



れいわひろば

- | | |
|--|---|
| 保育の理念
★子どもに愛と生きる力を | 大切にしていること
★しっかり看つめること
★思いっきりカラダを動かすこと
★ぎゅっとハグすること
★大人みんなで精一杯愛すること
★自分の興味を満喫させてあそぶこと
★大人も育つこと |
| 保育目標
★雪のようにきらきら輝く子
★緑のようにやさしくあったかい子
★太陽のようにつよくたくましい子 | |

「にしかわ保育園の夏、元気に開催！」

7月12日、「にしかわ保育園夏まつり」を開催しました。今年からは室内での開催となり、天候に左右されずに安心して楽しめるイベントにリニューアル!

当日は、浴衣や甚平に身を包んだ園児たちが元気に参加。華やかな衣装に身を包んだ子どもたちの姿に、会場は暖かい雰囲気になりました。



「元気っぱいのダンスタイム！」

園児たちは、元気っぱいのダンスを保護者の前で披露! 始めは少し緊張した様子も見られましたが、次第に笑顔になり、楽しそうに踊る姿が印象的でした。

会場には、園児たちが一生懸命作った手作りちょうちんも並び、色とりどりの作品がイベントをいっそう華やかに。子どもたちは「これ、自分が作ったの!」と嬉しそうに保護者に紹介する姿も見られました。



「くじ引き、駄菓子にかき氷♪夏の楽しみが大集合!!」

子どもたちが楽しみにしていた出店コーナーもオープン。会場には、かき氷やくじ引き、駄菓子釣りなどのブースが並び、園児たちは保護者やお友達と一緒に思い思いに楽しんでいました。「何が当たるかな?」「つれたよ!」といった元気な声が飛び交い、楽しいひとときを過ごした園児たちの笑顔とともに、今年の夏まつりは盛況のうちに幕を閉じました。



まちの保健室より

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです



■夏ばて予防は食事から～元気に夏を過ごしましょう～

暑さで食欲がなくなると、冷麦やそばなど冷たくてのど越しのよい麺類が食べやすいですね! しかし、おかずなしの食事が続くとたんぱく質やビタミン・ミネラル等の栄養素が不足しがちになり、夏ばてや体調不良を招きます。そこで、夏をイキイキ過ごす食事の工夫を紹介します。

麺類にはちょい足しを!

簡単なおかずやすぐ食べられる食品を活用し、トッピングしよう。
例) 豚しゃぶ・ゆで卵・冷奴・チーズ・ツナ缶で、たんぱく質をプラス
大根おろし・オクラ・トマトなど野菜をプラス



夏におすすめビタミンB1

ビタミンB1はエネルギー代謝をサポートしたり、疲労回復に効果があります。
また、にんにくやたまねぎ・ネギに含まれるアリシンと一緒にとると吸収率がさらにアップ!
例) 豚肉と玉ねぎの炒め物・豚肉とにらのスタミナ春巻き



伊藤真先生の 元気アップ! 運動教室 PART324



今月のテーマ:
「ちょこっと動くで健康づくり」

厚生労働省が推進する「健康日本21(第三次)」に基づく「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」では、子どもから高齢者まで共通して、身体活動の運動強度が3メッツ以上であることが推奨されています。メッツは運動の強さを表す単位で、安静にしている状態(座っている時など)を1メッツとし、それに対してどれだけエネルギーを消費するかを示します。例えば、普通に歩くことは約3メッツの強度で、散歩は3.5メッツに相当します。

高齢者の場合、1週間に「15メッツ・時」以上の身体活動が推奨されています。これは、普通に歩く時間を1日約40分以上確保することに相当します。この運動量を週に積み重ねることで、死亡リスクが低下し、健康効果が高まることが研究で示されています。特に、週に15メッツ・時以上の運動を行うことで、さらなる健康効果が期待できるとされています。

西川町では、毎週水曜日の14時から「楽楽運動教室(奇数週)」と「ゆる楽運動教室(偶数週)」を開催しています。9月までは「交流センターあいべ大ホール」で行っています。涼しい環境の中で約20分のウォーキングも行います。健康づくりの機会として、ぜひ教室をご活用ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

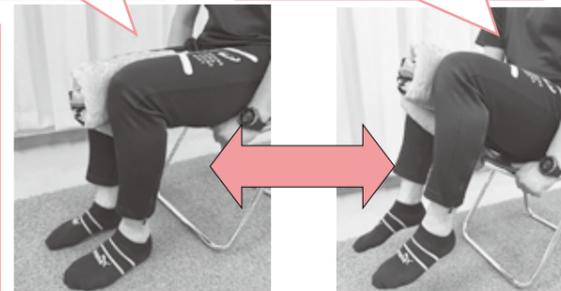
脚を上げる力とお腹の筋力トレーニング!

タオルを脚(膝)に挟み、その状態で脚を持ち上げましょう。5秒キープ×10回)

タオルをはさむ

はさんだまま持ち上げる

スタートポジション



脚を上げて、体は後ろに倒さない。やや前傾の姿勢で行いましょう。

●注意点

- ①体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。
- ②可動域制限がある方は、無理のない範囲で行ってください。
- ③踏ん張らずに、行いましょう。

ご紹介した運動についてご不明な点がございましたら、毎週水曜日14時から開催している運動教室にてご確認ください。

参考・引用資料

- 1)公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 月刊 健康づくり 2024.8 P8 高齢者の身体活動・運動について 福島 教照 東京医科大学公衆衛生学分野准教授 井上 茂 東京医科大学公衆衛生学分野主任教授
- 2)厚生労働省 健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023高齢者版 <https://www.mhlw.go.jp/content/001195868.pdf>
- 3)厚生労働省 メッツ表 改訂_230823 https://kennet.mhlw.go.jp/tools/wp/wp-content/themes/targis_mhlw/pdf/mets.pdf

新たな駅伝大会 「西川オータムハーベスト駅伝」が始動!

7月28日、「西川町駅伝競走大会」に代わる新たな大会に向けて、関係者による話し合いが行われました。この会議を経て、町スポーツ協会長・日塔邦昭さんを会長とする実行委員会が発足。

実行委員会では、これまで西川町陸上競技協会を中心に行ってきた対話会をもとに、大会の要項について活発な意見が交わされました。その結果、従来の地区対抗を見直し、走りたい人が自由にチームを組んで走れる大会「町外からも広く参加を募り、西川町の魅力を発信する大会」という2つの基本コンセプトを掲げ、大会名を「西川オータムハーベスト駅伝」に決定。実行委員が一丸となって準備を進めていきます。



■大会概要

開催日・場所
11月16日(日) / 西川小学校周辺コース

＜競技種目＞

① 小学男子・女子の部(4年生以上) 1.3km×5区間

② 中学男子・女子の部 3.2km×5区間

③ 一般の部 5km、1.3km、5km、3.2km、5kmの計5区間

※1.3kmは小学4年生以上、3.2kmは中学生以上、5kmは高校生以上が対象

※一般の部の「町民のみで構成されたチーム」は通常の順位に加え、町民チーム同士の順位表彰あり

④ フランランの部 1.3km(小学生以上、どなたでも参加可能。表彰・記録計測なし。駅伝形式ではありません)

＜参加方法＞

エントリーはインターネット「RUNNET」(ランネット)において、8月19日から受付開始予定です。

＜その他＞ 詳細は、西川町公式ホームページをご覧ください。

7月は「第75回」社会を明るくする運動「強化月間です!」

法務大臣からの委嘱を受け日々活動されている町内の保護司の皆様が、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くため、「社会を明るくする運動」キャンペーンを行いました。

登校する西川小・中学生へのあいさつ運動とポケットティッシュ配布を皮切りに、役場を始めとする町内10箇所において総理大臣メッセージをお渡しし、町全体での運動への取り組みをお願いしました。



大井沢で「川じゃぼーん」開催! 親子の笑顔があふれました

7月27日、大井沢で夏の恒例イベント「川じゃぼーん」が開催されました。

当日は青空が広がる絶好の天気恵まれ、会場は多くの家族連れでにぎわいました。岩魚のつかみどりでは、子どもたちが夢中になって川を走り回り、自分の手でつかまえた魚をその場で塩焼きにして味わう体験に、大人も子どもも笑顔があふれていました。

また、毎年人気の「カブトムシ釣り大会」も行われ、虫好きの子どもたちの歓声があちこちから聞こえてきました。川や山の自然にふれながら、親子で貴重な夏の思い出をつくることができました。



おたすけ隊活動中! ~町のお困り事を手伝います~

4期: 7月4日~7月28日(6人)

【活動内容】

- 町民: 草刈り
- 地域活動: いってみっぺ手伝い、お寺縁日手伝い、川じゃぼーん手伝い
- 月山じょいふるふあーむ: 燃料ペレット作業
- 西川町総合開発株式会社: フェリシア公園草刈り、塩蔵わらびの袋詰め
- 西川町役場: ウルトラマラソン、クマののぼり旗設置、ブナの森自然学校、放課後子ども教室、ぴんしゃん広場、夏祭りスタッフ

【おたすけ隊の声】

- ・町民の方と再会できて、嬉しかった(リピーターの声)
- ・町に根付いたイベントの手伝いできたことが嬉しかった
- ・郷土料理を教わることで、勉強になったしとても美味しかった

【お問い合わせ】 Tel: 74-2100 担当: 堀・磯合



▲クマののぼり旗設置



▲町民宅の草取りの様子

人権擁護委員の交代と表彰式が行われました

このたび、人権擁護委員に関する式典が行われ、委員の交代と表彰がありました。令和元年から6年間にわたり、人権擁護委員として地域の人権啓発活動に尽力されてきた佐藤登紀子委員が退任されました。これまでのご貢献に対し、山形法務局寒河江支局長より感謝状が贈られました。心から感謝申し上げます。

また、令和7年7月1日付で末松みち子委員が新たに委嘱され、今後の活動が期待されます。

あわせて、平成29年から委員を務めていた奥山茂喜委員が、長年の功績を称えられ、全国人権擁護委員連合会長表彰を受賞されました。表彰は、県人権擁護委員連合会の総会において行われました。



人権擁護委員啓発活動「人権の花運動」や「保育園夏まつり」での啓発を実施!

今年も、にしかわ保育園、西川小学校、西川中学校において「人権の花運動」を行いました。人権擁護委員からの人権講話の後に花の植栽が行われました。

人権の花運動は、花を育てることで「命の尊さ」や「思いやりの気持ちを持つ大切さ」を持つだけだけでなく、毎年行われております。きれいに植えられた花を前に、水やり当番を積極的にやろうとするうれしい言葉がありました。

さらに、先日のにしかわ保育園「夏まつり」では、人権啓発活動として、メッセージ入りうちわをお配りしました。



新たな拠点で挑むものづくり 洋裁と福祉の連携を目指して

長谷川 瑞輝さん (間沢在住)

時間が経つのは早いモノで、私も西川町に来てから9ヶ月の時が経ちました。着任してすぐの冬には初めての雪降ろしも経験し、一つ遅しくなれたかなといったところです。

さて私の活動ですが、拠点としている叶屋では5月からいろんな方に使っただけの洋裁のシェアアトリエを開始、また7月からは洋裁教室も始めました。まだ順風満帆とはいきませんが、町内外から利用しに来てくださる方がいらっやって嬉しく思っております。

私の活動を通して新たにものづくりに興味を持ってくれたり、すでにもものづくりをしている方同士が繋がってくれたらいいなと考えています。制作の方では寒河江市の障がい者就労支援施設「らっふる」と協力し手織り生地を使った製品作りに取り掛かっています。まだブランド



として確立していませんが、FABER月山の展示に混ぜていただいたり、大井沢のギャラリー麦わらさんでも展示させてもらったりしています。今後はブランドとしての枠組みを固めていき、障がいを持っていらっしゃる方々が自らの仕事によって適切な収入を得られるようになブランドを目指していきます。

「おてつたび」から西川町へ 移住1年、地域と歩む日々

金子 秀明さん (網取在住)

昨年10月より地域おこし協力隊として活動しています。

おてつたびがきっかけで西川町を知り、一昨年の除雪や雪旅籠、また町民の皆さんと関わらせていただき、今ではおてつたびを通して来てくださった人をおもてなしする側になりました。

月1回の「ぴんしゃん広場」や週3回の健康弁当事業に携わらせていただいています。

四季折々の景色が楽しめる西川町が大好きで、気が付いたら家を買ひ、長く住み続けていこうと思います。

町内でお会いした際は気軽に声をかけてくださると嬉しいです。

今後の展望として、住居の改築や畑など出身地(東京都)では出来ない事に挑戦していきたいです。



町では地元の木材に触れて森林への関心を高めてもらうため、やまがた緑環境税を活用して木工教室を開催しています。7月8日は西山杉のお盆キットを作る木工教室を行いました。当日は月山やまがたから研究会の渡辺敏博さん、渋谷幸隆さんが講師として来校し、生徒に組み立て方の指導を行いました。

西川中学校で木工教室を開催しました！



▲糸鋸の使い方を大工さんに教えてもらいます

6月25日、西川小学校で令和7年度西川町緑の少年団結団式が行われました。緑の少年団はブナの森自然学校や田植え作業、大井沢楽行などの森林での学習を通じて心豊かな子どもたちを育成することを目的に、町民の皆さんからいただいた緑の募金などを活用し活動しています。式では前田教育長が児童代表者に団旗を手渡し、全校児童で誓いの言葉を宣言して今年度の活動をスタートさせました。

令和7年度緑の少年団結団式が行われました！



▲みんなで教育長のお話を聞きます

日本消防協会会長訪問！

7月4日、日本消防協会の秋本会長を訪問し、佐藤団長と菅野町長が消防団の活躍を説明してきました。平成20年に全国消防操法大会に出場し5位入賞したこと、自主防災訓練でタブレットを活用していること等をご説明しました。訪問後は昨年新しくなったニッソーホールについて、秋本会長にご案内いただきました。



▶秋元会長へ町長・消防団訪問

自然と共に生きる力を育てる ーブナの森自然学校ー

7月9日から11日の2泊3日の日程で、「ブナの森自然学校」が開催され、西川小学校の5年生29人が参加しました。子どもたちは、月山フラワートレッキングや植物観察など、豊かな自然を活かしたさまざまなアクティビティを体験。友達と協力してテント設置や野外活動を通して、仲間と貴重な時間を過ごしました。西川町の自然の豊かさを再発見するとともに、友達との絆もいっそう深まる、思い出に残る3日間となりました。



▶自然を感じながら月山に登る児童たち

新緑が映える月山に全国のランナーが大集合！ 第3回月山山麓ウルトラマラソン

7月6日、第3回月山山麓ウルトラマラソンが開催され、県内外の約200人のランナーが約75キロメートルのロングコースに挑みました。
今年をはじめ晴天に恵まれ、参加者は月山志津温泉をスタートし、大井沢の湯ったり館や大江町の柳川温泉、吉川のかわどい亭などを巡り、ゴールの月山志津温泉を目指しました。コース途中のエイドステーション(休憩所)では、町民ボランティアが冷たいそばや飲料水などを提供し、参加者に声援を送りました。



▶参加者の皆さんと記念撮影

モンベルフレンドフェアで西川町の魅力を発信！

7月5日・6日の2日間、パシフィコ横浜で「モンベルフレンドフェア」が開催され、西川町は「フレンドエリア」 月山・朝日・蔵王のブースに出展しました。ブースでは、月山の夏スキーや登山、朝日連峰、SEA TO SUMMITの紹介を行い、パンフレットの配布も実施しました。



▶来場者にパンフレットを手渡している様子

全国から訪れた来場者の中には、「月山に行ってきたよ」「山菜が美味しかった」と声をかけてくださる西川町のファンの方も多く見られました。
今後もモンベルとの連携を深めながら、月山や朝日連峰の魅力をもっと多くの方に伝えていきます。

地域の川を守るために建設業協会西村山支部青年部が環境保全ボランティアを実施

7月18日、綱取地区の寒河江川河川敷で山形県建設業協会西村山支部青年部の皆さんによる草刈りなどのボランティア作業が行われました。

山形県河川愛護活動の一環として作業を実施しており、今年で15回目を数えます。
寒河江西村山管内でボランティア作業を行っているのは西川町のみであり、当日は10名が参加し約300mの区間で草刈りなどを行いました。



▶草刈り作業を行う青年部の皆さん

モンテへ届け！熱い思いを横断幕に！

7月19日、旧川土居小学校体育館とピロティにて、モンテディオ山形のサポーターグループによる応援横断幕の作成・補修作業が行われました。気温30度を超える暑さの中、タオルで汗をぬぐいながら、モンテの勝利を願って一枚一枚丁寧に仕上げる姿がとても印象的でした。

そして今回はなんと西川町オリジナルの横断幕も制作！月山のシルエットとモンテ勝利の時に歌われる「スポーツ県民歌」の一節を書き入れました。この横断幕はホーム戦でスタジアムに掲出される予定ですのぜひご注目ください！

町の熱い応援がきつと選手たちの力になります！



▶サポーターの皆さんと

町内出身学生がっなく 私は元気でやっていますリレー



設楽 大樹さん
西川町間沢出身
現在 福井県福井市在住

私が進学した大学は福井工業大学です。この大学に進学した理由は、建築を学びながらカヌーをすることができるからです。
現在は大会に向けた追い込みを行っており、中でも自分の強みである筋力トレーニングを頑張っています。そして、9月に地元の月山湖で行われる全日本学生カヌー選手権大会(インカレ)では上位入賞を目指します。ぜひ応援よろしくお祈いします。

西川町へのメッセージ

心が暖かい町(健康に気をつけてろな~)

町スポーツ推進委員 早坂一典さんに 東北地区協議会表彰

7月11日、「東北地区スポーツ推進委員研修会福島県大会」が福島県田村市で開催され、長年にわたり町内のスポーツ推進に取り組んでこられた早坂一典さん(綱取)が東北地区協議会功労者として表彰されました。

早坂さんは、平成16年からスポーツ推進委員として活躍しており、町民のみなさんの健康増進、体力向上に大きく寄与されています。



▶賞状を持つ早坂一典さん

夏空の下、白球を追いかけて 町長杯町民野球大会

7月13日、町民グラウンドにて「第69回町長杯町民野球大会」が開催されました。晴天に恵まれたこの日、3チームが出場し白熱した試合が繰り広げられました。

- 大会結果
- ・優勝…役場チーム
 - ・準優勝…海味チーム
 - ・最優秀選手賞…川越一吹(役場)
 - ・優秀選手賞…奥山幸司(海味)



▶優勝した役場チームの皆さん

女性活躍推進企業の最高評価「プラチナえるぼし」に、西川保健福祉会が県内初の認定

「えるぼし」は、女性が活躍できる職場の環境づくりを推進する企業を、国が認定する制度で、この度、その取組みが特に優良とされる「プラチナえるぼし」に、ケアハイツ西川を運営する西川保健福祉会（荒木弘理事長）が県内で初めて選ばれ、先日認定書が交付されました。

えるぼしは、女性活躍推進法に基づく認定制度で、女性管理職の比率などで評価され、評価項目をより高い基準でクリアし、さらに女性の活躍に向けた自社行動計画の目標を達成した企業を「プラチナえるぼし」として認定するものです。

片倉明美施設長は、「働きやすい環境づくりが評価された結果であり、今後もワーク・ライフ・バランスに取り組みしていきます」と話してくれました。



6年ぶりの開催！「月山湖夏まつり」

7月26日、6年ぶりに「月山湖夏まつり」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

寒河江ダムの特別見学会や「ダム」の内部を探検「ダム放流」などの体験型イベントに加え、巡視船に乗る「ダム湖面巡視体験」も実施。親子連れが多く参加し、夏の思い出づくりを楽しんでいました。

そのほかにも、大噴水の特別打ち上げやライトアップ、クイズラリー、土砂災害模型実験はたらく車展、水道水の試飲コーナーなど、多彩な企画で会場は終日盛り上がりしました。



「にしかわえいがまつり」開催

8月3日、「まま a.s.m.k」主催による映画イベント「にしかわえいがまつり」が、西川交流センターあいべで開催され、当日は町内外から約100名が来場し、にぎわいを見せました。

第1部では自然の大切さや動物たちの姿を描いた「野生の島の口入」、第2部では体の中で働く細胞たちをテーマに描いた「はたらく細胞」が上映され、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめるラインナップとなりました。

また、ポップコーンとドリンクのセットも販売され、来場者からは「まるで映画館に来たみたい！」との声も。会場内には座布団の席も用意され、靴を脱いでリラックスしながら映画を観られるなど、親子で安心して過ごせる工夫もされていました。

参加者からは、「子どもと一緒に映画を楽しめてうれしい」「こうしたイベントをまた開催してほしい」といった声があり、主催者も「やりたい」という思いが形になってとても感動しています。「こんなに多くの方に来ていただけて本当にうれしい。」と、喜びと感謝を語っていました。



積み重ねた努力、全国の舞台で花開く

7月24日から27日にかけて、香川県の府中湖で開催された「JOC ジュニアオリンピックカップ 全国中学生カヌースプリント選手権大会」において、西川町の中学生たちが素晴らしい成績を収めました。

- 【優勝】
- 男子K4：鈴木琥葉久、太田和輝、荒木琉志、荒木久隆
 - 男子C1：荒木久隆
- 【第2位】
- 男子K2：鈴木琥葉久、太田和輝
- 【第5位】
- 男子K1：鈴木琥葉久
- 【第6位】
- 男子K1：太田和輝
- 【学年別特別レース】
- 第2位（1年男子K1）：鈴木稀葉瑠



全国から集まった強豪選手たちと競い合う中で、堂々とした活躍を見せた西川町の選手たち。日頃の努力とチームの絆が実を結んだ結果となりました。おめでとうございませう！



高校生も大活躍！ 大健闘のインターハイ

8月1日から6日にかけて、島根県美郷町で開催された「全国高校総体（インターハイ）」において、西川町出身の高校生たちが素晴らしい成績を収めました。山形県大活躍です！

- 【優勝】
- 男子200m C1：伊藤直大
 - 女子500m K4：佐藤和佳、太田里桜奈、土田琳子
 - 女子200m K4：佐藤和佳、太田里桜奈、土田琳子、後藤茜寧（河北町）
 - 女子200m K4：佐藤和佳、太田里桜奈、土田琳子、後藤茜寧
- 【第2位】
- 男子500m C1：伊藤直大
 - 女子200m K1：佐藤和佳
- 【第3位】
- 女子500m K1：佐藤和佳
- 【第6位】
- 女子500m K2：太田里桜奈、土田琳子
 - 女子200m K2：太田里桜奈、土田琳子
- 【第7位】
- 男子200m K4：松田和琉、斉藤樹（河北町）、鈴木悠斗（河北町）、長岡翼（朝日町）



～おめでとうございます～

Congratulations!

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

※敬称略

笑顔あふれる夏のひととき ～お寺縁日開催～

にぎやかな声と笑顔があふれた7月20日、入間・愛染院で「お寺縁日」が開催されました。当日は境内に出店が並び、風鈴の音が涼を呼ぶ中、子どもたちは射的やダーツ、お絵描きせんべいなどを楽しみながら夏の思い出をたくさんつくっていました。

大人たちも出店のグルメや昔ながらの遊びにほっと一息。

夏の思い出を彩る、楽しい一日になりました。



今月の表紙

7月26日に行われた「にしかわ夏祭り」。会場は多くの来場者で賑わい、出店の明かりと笑顔があふれる中、19時の花火打ち上げセレモニーと共に夜空には昨年を上回る約5000発の花火が打ち上がりました。

迫力ある光と音が町の夜を華やかに彩り、皆さんの今夏の思い出になったのではないかと思います。



編集雑記

西川夏祭りとても感動しました！来場者も昨年を大幅に越え、さらに西川中学校カヌー部、西川町出身の高校生カヌー部が素晴らしい成績を納め、自分のことのように嬉しかったです。これからも西川町から目が離せません！ (三瓶)



SEA TO SUMMIT 開催！

開催日時：2025年9月6日(土)・7日(日) [雨天決行]
 1日目：環境シンポジウム
 2日目：アクティビティ

大会コース
 カヤック：約3km
 バイク：約13km
 登山：約3.5km



LINE

@nishikawa_town

X

@nishikawatown

Instagram

@nishikawatown

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/>をご覧ください。

8/1 現在の人口と世帯数 人口 男 2,173人 女 2,250人 計 4,423人 世帯数 1,781 ()は前月比
 (-4) (-5) (-9) (+1)